

今後の100年を見据えたまちづくり



公明党議員団
三宅 智加子 議員

中国大同市訪問を終えての所感

問 日中平和友好条約締結から40周年、公明党創立者の国交正常化提言から50周年という節目を迎えた。

8月の中国大同市訪問を終えての市長の所感は。

答 昭和56年に友好都市の締結をし、これまで代表団の相互訪問などの友好親善をはじめ、環境技術や環境教育、都市緑化といった分野での国際協力に取り組み、良好な関係を築いてきた。25年ぶりの訪問で街並みは急速な近代化が図られていた。一方で大気汚染の改善は目を見張るものがあり、これまでの技術協力の成果を大きく感じた。



大同市訪問

再発言 世界平和は、対話と様々な交流の積み重ねの上に

成り立つものである。今後は、次の世代にバトンを託す取り組みをさらに図りたい。

児童虐待防止対策

問 平成28年度の児童虐待相談件数は12万件を超え、5年前と比べ倍増している。本市の児童虐待防止対策と課題について聞きたい。

答 児童虐待防止のためには、子供や子育て家庭を地域で見守り、虐待の疑いがある場合には早期に発見し、多くの機関が連携して対応することが重要である。本市では、医療・教育・福祉など16の関係機関で構成する「大牟田市子ども支援ネットワーク」を設置し、児童虐待の問題解決に取り組んでいる。また、4月に開設した「はぐはぐOomuta」では、全ての妊産婦に早期から寄り添い、児童虐待の発生予防に力を入れている。

再発言 虐待を感知した人が、それを知らせることができる相談窓口「児童相談所全国共通ダイヤル189-いちはやく」の周知徹底に努められたい。

自殺対策

問 厚生労働省が公開した平成30年版自殺対策白書では、若い世代の自殺が、他国のデータと比較して高い傾向にあ

る。本市の小中学校での自殺対策について聞きたい。

答 各学校に文部科学省の自殺予防に関して周知を図るとともに、児童生徒にいつでも相談できる窓口を記載したSOSダイヤルカードを配布している。また、管理職や養護教諭などを対象に自殺予防教育に関する研修会を開催している。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を図り、様々な事案に対応できる体制を整えている。

再発言 本市では、児童虐待防止や自殺対策など行政の各部署間、他の関係機関との連携がよく図られている。

教育や子育てに関して相談しやすい環境づくりのためにも、総合相談窓口の設置を検討されたい。

大牟田市動物園の魅力を生かす絵本ギャラリーの整備

問 絵本ギャラリー側入り口の駐車場については、どのような整備をするのか聞きたい。

答 旧老人福祉センターの駐車場を予定しているが、台数が限られている。そのため、絵本ギャラリー側の駐車場は、体に障害をお持ちの方や関係者の方々を中心に利用いただくことになると考えている。

再発言 旧延命中学校跡地に整備される駐車場から絵本ギャラリーまでのアプローチは、地域住民の皆さんの理解を得て、楽しい道のりとなるような創意工夫を図られたい。